



京機会ニュース

No. 33 平成25年(2013年)秋号

京機会事務局

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟b棟4階(b4S13)

TEL&FAX:075-383-3713 URL:ht+p://www.keikikai.jp/



京機会秋季大会のご案内

～ 桂キャンパス 移転記念大会 ～

平成25年度の京機会秋季大会・総会は、桂キャンパスにて開催いたします。



京都大学フォーミュラ KART

第11回学生フォーミュラ大会 総合優勝!

平成25年9月3日～7日、小笠山総合運動公園(ECOPA)で開催された「第11回学生フォーミュラ大会」にて、**京都大学フォーミュラ KARTチーム**が、念願の総合優勝を果たしました! 平成5年12月のチーム立ち上げから10年目の悲願達成です。



●KARTからの優勝報告はP. 11をご覧ください。



京都大学フォーミュラKARTチーム

総合優勝おめでとう!



京機会会員一同

決勝レース当日は、KART OBのほか、中部支部若手会主催「学生フォーミュラ京大チーム応援ツアー」も開催され、熱い声援の中の見事な勝利でした。



受賞内容



スキッドパッド賞 2位 / オートクロス賞 2位
耐久走行賞 1位 / 省エネ賞 3位
最軽量化賞 3位 / ジャンプアップ賞 3位
ベストサスペンション賞 2位
日本自動車工業会会長賞 / ICV特別賞
ICV総合優秀賞
経済産業大臣賞 静岡県知事賞



当日は、三菱重工業(株)和仁 正文氏(S48)による特別講演会『ガスタービンコンバインドサイクル発電の技術動向』のほか、桂キャンパスC3棟内の見学も予定しています。

多数のご参加をお待ちしております。

●詳細はP. 2をご覧ください。



物理系四専攻

桂キャンパス移転記念式典

物理系四専攻桂キャンパス移転記念式典・祝賀会が、平成25年5月11日(土)に開催されました。

名誉教授、桂坂学区自治会関係者、松久 寛京機会会長(S45)のご臨席のもと、実行委員長の小森 悟前工学科長(S48)により、記念式典が華やかに開催されました。



～ 会長による鏡開き ～



祝賀会に、京機会と物理系系専攻同窓会が合同で、鏡開きの樽酒を寄贈させていただきました。

平成25年度 京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催いたします。出席下さいますようご案内申し上げます。
桂キャンパス移転後初めての大会です。ご家族の参加も歓迎いたします。

日時：平成25年11月23日(土・祝) 13:30~19:30
会場：京都大学 桂キャンパス Cクラスター C3棟・船井哲良記念講堂
行事：

<大会受付> 13:00~13:25 桂キャンパス C3棟

1. 桂キャンパス見学 13:30~14:30
2. 京機会総会 14:40~15:40
3. 学生フォーミュラ KART 優勝報告 15:45~16:15
4. 特別講演会 16:20~17:20

「ガスタービンコンバインドサイクル発電の技術動向」

和仁 正文 氏(S48) 三菱重工業(株) 常務執行役員



三菱重工は大型ガスタービンで唯一の国産メーカーとしてGEやSiemensと世界市場で対抗しているが、その歴史は高温化・高効率化の開発・改良の歴史であり、それを支える技術は材力・流力・熱力・振動など機械工学要素の集大成製品です。その開発の歴史と現状についてのご紹介とプラント熱効率の推移についても簡単にご紹介します。

5. 懇親会 17:30~19:00

会場：船井哲良記念講堂

会費：一般会員 4,000円 会員ご家族は無料

学生会員 1,000円

- **ご家族の参加も歓迎いたします。** ご家族参加の場合は、大会参加申込時にその旨ご回答下さい。
- **自由な服装でお越しください。**
- **11月13日(水)までに、同封のハガキもしくは、京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>) からの参加申込をお願いします。** (但し、二重受付登録防止のため出欠回答はどちらか一方でお願いします。)

- **ご来学の際は、下記時刻表をご参照ください。** 降車は、C3棟は「桂御陵坂」、船井講堂は「京大桂キャンパス前」です
- 桂キャンパスまでの所要時間は、「阪急桂駅 ~ 約15分」「JR桂川駅 ~ 約20分」です。
- **自家用車でお越しの場合は、空いているスペースをご利用いただけます。** なお、飲酒運転は固くお断りいたします。

京都大学 工学部・大学院 工学研究科
桂キャンパス (〒615-8530 京都市西京区京都大学桂)



2013.6.3
運行バス時刻表

桂坂中央ゆき [京大桂キャンパス 経由]

阪急桂駅西口発... 市バス 西6 京阪京都交通バス 20(20B)
京都駅 発... 京阪京都交通バス 21(21A)
JR 桂川駅 発... ヤサカバス 6 京阪京都交通バス 22
JR 向日町駅 発... 京阪京都交通バス 22

(桂構内行)
学内連絡バス
吉田キャンパス発
宇治キャンパス発
約15分後経由
※交通事情により
前後する場合があります

土休日		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
				09	03	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	14	00		
				07	07	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	15	15	16	10	
				20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	18			
				24	25	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	24	24	25		
				26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	27			32		
				40	30															
				51	40	42	42	42	42	42	42	42	42	42	44	44	40			
				55	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	54	54	55			

平成25年度 京機会春季大会・総会のご報告



関東支部主催による平成25年度春季大会・総会は「温故知新」をコンセプトに、平成25年4月13日(土)、日本工業倶楽部で開催されました。

JR東京駅の丸の内北口を降り、新改築された駅ビルの赤レンガを出ると、目前には青空を突き上げてビルが並びますが、信号を渡って北西に1分ほど歩くと正面玄関両脇を石柱で囲った優雅な建物が現れます。屋上には小倉右一郎作の坑夫と織女の像が立ち、丸の内の喧騒を見下ろしています。正門を入ると、正装の紳士が入場者の一人一人と穏やかな視線を交わっていて、多くの国賓を迎えたという、日本工業倶楽部創立当時の雰囲気をも残しているようでした。



今回の春季大会・総会、特別見学ツアーではJR東京駅と三菱一号館の見学会が行なわれ、「温故知新」を実体としても堪能できる企画となりました。

◆特別見学ツアー：10：00～12：00

(1) 三菱一号館 見学ツアー(参加者39名)

(2) JR東京駅 見学ツアー (参加者21名)

◆講演会・総会：13：00～ (参加者120名)

・講演Ⅰ：「設計図面のデジタル化
(タイタニックと三菱一号館)」

井手亜里氏(S52、京都大学機械理工学専攻教授)

・総会

・講演Ⅱ：「スカイツリー建設クライミング
クレーン技術紹介」

蔦森正憲氏(IHI運搬機械(株)運搬システム事業部)

◆懇親会：16：00～ (参加者99名)

◆翌日行事：平成25年4月14日(日)

(1) 第7回 写真同好会 <皇居東御苑コース>

(2) ゴルフ会



－ 特別見学ツアー －

特別企画として、10時～見学ツアー2コースを開催しました。三菱一号館コースは39名、JR東京駅コースは21名の計60名の会員とご家族に参加いただきました。

－ 講演会Ⅰ －

本年度大会は、関東支部事務局長 能勢幸嗣氏(H3)の司会により、井手亜里教授(S52)による講演から始まりました。仏像、日本絵画などの美術品や、タイタニック号、建造物の設計図などのデジタルアーカイブ化とその著作権の問題、画像からの分析などの先端的な試みと、世界的に広がる活動の現状などのご紹介がありました。



－ 総会 －

14:00からは、教訓とユーモアに富んだ松久寛京機会会長(S45)による挨拶の後に、秋季大会、交流会、ニューズレターや短信の発行、修了記念パーティー、工場見学などの平成24年度活動報告が榎木哲夫代表幹事(S56)より行われました。

また、平成24年度決算報告/平成25年度予算報告(西脇眞二教授(S61))、監査報告(中谷征司氏(S37))が行われ、支部報告では、小谷重遠関西支部長(S44)、鎌居健一郎中部支部長(S53)、山本謙中国四国支部長(S50)、千々木亨九州支部長(S54)、藤原健司関東支部長(S44)より、それぞれ、大きな支部は大所帯を生かした多彩な企画が、また小さな支部は井戸端的コミュニケーションとそれぞれの土地の利を生かした企画が報告されました。京機会が学科の同窓会として日本有数の活性を有していることを改めて感じさせられました。また、榎木代表幹事より平成25年度の活動方針が発表され、引き続き、会則改正、役員改選、質疑応答が行われました。なお、秋季大会・総会は桂で行われることなども報告されました。

－ 講演会Ⅱ －

15:00からは、IHI運搬機械(株)蔦森正憲氏より、スカイツリー建設に用いられたクライミングクレーンの様々な基礎技術が紹介されました。400m以上の高さまで巻き上げる東京スカイツリーならではの技術要素、そもそも、最後まで使用したクレーンはだれがどうやって地上に下ろすのか、などなど、みな興味津々の様子でした。

－ 懇親会 －

懇親会は同じく日本工業倶楽部の素晴らしい内装に囲まれて行われました。

矢部寛名誉教授(S35)作成の「京都大学機械系工学教室講座の流れ」が、さらに京機会所属研究室の系譜(<http://keikikai.jp/honbu/keifu20130404.pdf>)として更新されたのを機会に、懇親会では分野のおおむねの系譜ごとにOBが集合して写真撮影が行われ、コミュニケーションの場をさらに盛り上げました。



平成25年度京機会役員（敬称略）

◎*は新任、正：は正幹事、副：は副幹事の略

【会長】松久 寛*(S45)

【副会長】塩路 昌宏*(S50)

小谷重遠*(S44、関西S)、藤原健嗣*(S44、関東S)
鎌居謙一郎(S53、中部S)、
山本 謙*(S43、中四国S)、千々木 亨*(S50、九州S)
上島瑞穂*(H25、学生会) ◎ Sは支部長の略

【監事】中谷征司(S37)、川辺泰嗣(S40)

森 雅彦(S60)

【代表幹事】正：榎木哲夫(S56)、副：中部主敬(S56)

【会計幹事】正：西脇眞二(S61)、副：田中和人(H6)

【常任幹事】

地区代表幹事：

(関西)小宮山 優*(H12)、(関東)山下真司*(S63)
(中部)河野恵介(S58)、(中四国)小川 誓*(S62)
(九州)入船佳津一*(S60)

大学側幹事：

(関西) 正：杉江俊治(S51)、副：松原 厚(S60)

(関東) 正：吉田英生(S53)、副：北條正樹(S54)

大学側幹事：

(中部) 正：松野文俊(S56)、副：田畑 修(S54)

(中四国)正：琵琶志朗(H2)、副：安達泰治(H2)

(九州) 正：井手亜里(S52)、副：蓮尾昌裕(S61)

(名簿担当) 中西弘明(H4)

(広報：ニュース)正：蓮尾昌裕(S61)

副：富田直秀(S54)

(広報：HP) 泉井一浩(H8)

(学生会) 岩井 裕(H5)、河野大輔(H17)

(教室代表：機械系) 中部主敬*(S56)

(教室代表：エネルギー) 塩路昌宏(S50)

(教室代表：情報) 杉江俊治(S51)

学生会：松本 航*(H25)

【通信・情報担当】山田崇恭*(H19)

【顧問】矢部 寛*(S35)、久保愛三(S41)、

藤川卓爾*(S44)

【運営委員会】運営委員長：塩路昌宏(S50)

久保愛三、熊澤正博、小谷重遠*、山本 謙*、

千々木 亨*、鎌居謙一郎*、吉田英生、

北條正樹、榎木哲夫、西脇眞二、山口美賀(H15)

会費納入のお願い

平成25年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

本会の運営は皆様の会費によって支えられております。**年会費は主に事務局の維持、ニュースの発行など全会員に関連する目的に使われており、各行事は主にそのつど追加で徴収する参加費で運営されております。**これらの点をご理解の上、年会費をお納めいただきたくお願い申し上げます。

なお、各行事参加は当該年度の会費納入を前提とさせていただきます。

会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。**会費納入の際は、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。**

●永年会員登録のお勧め

1976年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)

●インターネットバンキングもご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします(海外送金は除く))

口座名は全て「**京都大学機械系工学会**」です。

ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821

みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630

郵便振替口座 00990-8-116821

●クレジットカードによる会費納入も可能です。

京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページから会費納入用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

●京機会年会費自動引落としのお勧め

各位の振込みの手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落としにさせていただくことを、是非お願い申し上げます。申請用紙は、毎年、京機会ニュース春号に同封しております。また、京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページからダウンロードできます。

振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。

なお、ご利用時は下記注意事項をご確認下さい。

①申請依頼書は下記京機会事務局宛にご郵送下さい。

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟 4階 b4S13
京都大学工学研究科 機械系教室 京機会事務局

②今年度分の会費は来年6月に来年度分とまとめて引き落とされます。再来年以降は6月にその年度の会費が引き落とされます。

●クレジットカードによる会費納入も可能です。

京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページから会費納入用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成24、25年度ご寄付者 (H25. 2. 7~H25. 9. 16)

渡辺 寛 様(1952) 元木敏雄 様(1967)

京機会 平成24年度決算ならびに平成25年度予算

					単位:円			
科目		概要		H24年度予算	H24年度決算	(差異)	備考	H25年度予算
増収原因の部(収入)	会費収入			7,760,000	7,747,000	13,000		7,750,000
		(内訳)	一般会費		6,628,000	6,628,000		6,630,000
			青年会費		600,000	600,000		600,000
			学生会費		518,000	519,000	1,000	520,000
	寄付収入			30,000	39,000	9,000		50,000
	名簿広告収入			400,000	510,000	110,000		0
	名簿販売収入			0	42,000	42,000		15,000
	交際会収入		審理会費90円、ほか90000円(銀行は実質経費のみ請求)	5,000,000	4,524,000	-476,000		4,500,000
	行事参加収入			410,000	415,500	5,500		420,000
	利息			10,000	1,288	-8,712		25,000
その他			0	7,000	7,000		10,000	
								90,000
				13,600,000	13,285,788	-314,212		12,860,000
減少原因の部(支出)	通信費			1,260,000	1,194,946	65,054		920,000
		(内訳)	ニュース・大会案内		887,292			900,000
			名簿		296,074			0
			その他(通算集積)		11,580			20,000
	印刷費			2,380,000	2,498,879	-118,879		1,380,000
		(内訳)	ニュース・大会案内		1,449,128			1,360,000
			名簿		1,024,716			0
			その他(通算集積)		22,785			20,000
	名簿引当繰入費			-805,000	-805,000	0		300,000
	人件費		職員人件費・臨時アルバイト代	4,820,000	4,776,681	43,319		4,820,000
	支那活動費			1,699,000	1,590,264	108,736		1,745,000
		(内訳)	薪		539,036			560,000
			買費		383,240			420,000
			出費		272,518			315,000
			会議費		216,403			218,000
			その他		179,087			182,000
			その他		0			50,000
	大会経費		春季大会・秋季大会	530,000	594,848	-64,848		570,000
	交際会費			1,100,000	1,003,256	96,744		1,000,000
	スマイル活動費			700,000	167,170	532,830		700,000
	愛媛県教育連合会費		工場見学・修学旅行パーティーなど	1,000,000	757,945	242,055		820,000
	成費		幹事会・運営委員会・支那総会など	330,000	124,000	206,000		330,000
	会議費		幹事会・運営委員会・評議員会など	270,000	196,524	73,476		260,000
	会費振込手数料		銀行・郵便局手数料	220,000	213,710	6,290		220,000
	業務経費		備品消耗品・通信費・事務局管理費など	396,000	214,389	181,611		210,000
予備費			200,000	0	200,000		0	
その他			0	5,000	-5,000		85,000	
合計			13,600,000	12,532,112	1,067,888		12,860,000	
		当期正味財産増減額		753,676				
		前期末正味財産増額			10,057,155			
		期末正味財産合計額			10,810,831			

(注)H25年度予算中の「90000円」は、特別会計からの特別繰入金

平成25年度京機会学年幹事(敬称略)

平成25年度学年幹事は下記の通りです。各位には本年度もご協力の程よろしくお願い申し上げます。

秋季大会・総会当日、全体幹事会を、総会会場と同じくC3棟 講義室1にて、12:00~13:20開催いたします。

幹事各位には万障お繰り合わせの上ご出席の程よろしくお願いいたします。幹事会の詳細案内は、別途お送りします。

卒業年	氏名	E-mail	卒業年	氏名	E-mail	卒業年	氏名	E-mail	卒業年	氏名	E-mail
1947	中井 肇	1947hyogiin	1963	中川 哲	1963hyogiin	1980	奥田 寛	1980hyogiin	1997	佐野 智一	1997hyogiin
1948	岐美 格	無	1964	垣野 義昭	1964hyogiin	1981	榎木 哲夫	1981hyogiin	1998		
1949			1965	奥田 雄三	1965hyogiin	1982	矢辺 保行	1982hyogiin	1999	藤本 亮	1999hyogiin
1950	小澤 和雄	1950hyogiin	1966	中嶋 邦彦	1966hyogiin	1983	永瀬 豊	1983hyogiin	2000	小田 豊	2000hyogiin
1951	吉川 和彌	1951hyogiin	1967	藤川 卓爾	1967hyogiin	1984	横小路泰義	1984hyogiin	2001	土井謙太郎	2001hyogiin
1952	山本 巖	1952hyogiin	1968	来田 浩毅	1968hyogiin	1985	田坂 誠均	1985hyogiin	2002	金田 靖弘	2002hyogiin
1953旧	乾 幸人	無	1969	小谷 重遠	1969hyogiin	1986	蓮尾 昌裕	1986hyogiin	2003	吉富 聡	2003hyogiin
1953	西田 弘	1953hyogiin	1970	各務 嘉郎	1970hyogiin	1987	川上 浩司	1987hyogiin	2004	安富 亮太	2004hyogiin
1954	岡崎 順応	1954hyogiin	1971	三津田恒夫	1971hyogiin	1988	玉川 雅章	1988hyogiin	2005	向 朋作朗	2005hyogiin
1955	田中 道七	1955hyogiin	1972	秋山 雅義	1972hyogiin	1989	石谷 善博	1989hyogiin	2006	勝野 友介	2006hyogiin
1956	橋本 昌	1956hyogiin	1973	増本 雄治	1973hyogiin	1990	川那辺 洋	1990hyogiin	2007	長谷川寛晃	2007hyogiin
1957	坂戸 瑞根	1957hyogiin	1974	田上 真	1974hyogiin	1991	高橋 俊雄	1991hyogiin	2008	所 哲哉	2008hyogiin
1958	野田 忠吉	1958hyogiin	1975	塩路 昌宏	1975hyogiin	1992	須山 徹	1992hyogiin	2009	松本 洋平	2009hyogiin
1959	柴田 俊忍	1959hyogiin	1976	杉江 俊治	1976hyogiin	1993	岩井 裕	1993hyogiin	2010	工藤 朋也	2010hyogiin
1960	矢部 寛	1960hyogiin	1977	星出 敏彦	1977hyogiin	1994	茨木 創一	1994hyogiin	2011	荒井 未来	2011hyogiin
1961	井上 憲太	1961hyogiin	1978	上原 一浩	1978hyogiin	1995	小森 雅晴	1995hyogiin			
1962	吉岡 肇	1962hyogiin	1979	坂口 保彦	1979hyogiin	1996	泉井 一浩	1996hyogiin			

(注1)該当アドレスへ送信すると、学年評幹事の登録メールアドレスに自動転送されます。本内容はある種の個人情報です。

各位にはお取り扱いには十分にご留意下さい。

(注2)アドレスの後ろは、@keikikai.jp をつけてください。

(注3)上記一覧の「E-mail」項目に「無」と記載されている場合、現時点では、本連絡システムはご利用いただけません。

(注4)本連絡システムに対するご質問・ご意見等のご連絡は、京機会事務局 (TEL:075-383-3713 E-Mail:jimukyoku@keikikai.jp) まで。



上期の活動報告と今後の予定

■ 産学懇話会 (会場:京大吉田キャンパス物理校舎216室)

第38回:平成25年7月6日(土) 参加者:41名

1) エレクトロニクス分野における、電子部品の新規事業創出と私の経験そして学生に望むこと

パナソニック(株) 常務取締役 野村 剛氏(S51)

2) レスキューロボット開発と実用化への課題

京都大学 教授 松野文俊氏(S56)

第39回:平成25年10月19日(土) 参加者募集中

1) 発電用ガスタービンの技術動向

三菱重工業(株) 原動機事業本部 田中克則氏(S61)

2) ガスエンジンコジェネレーションの動向と課題

ヤンマー(株)小形エンジン事業本部 西村章広氏(S60)

3) これからの自動車 京都大学 塩路昌宏 氏(S50)

■ 異業種交流会

第34回:平成25年8月2日(金) 参加者:24名

・会場:(株)新日本テック

・講演:

「寿司屋型ものづくり」～ソリューション提案の推進と企業連携活動～ 代表取締役社長 和泉康夫 氏(S61)



■ 京機カフェ

詳細、申し込みは関西支部HPを参照下さい。

● MOT研究会

第45回:平成25年2月22日(金) 参加者:15名

・場所:大阪弥生会館

・講師:京都大学経済学部教授 宇仁宏幸氏

・講演:「日本の人口縮小にともなう経済的諸問題」

● 京機会MOTセンター(KMC)

6月26日の総会で解散が決議され、「イノベーション研究」を引き継ぐ形で「京機カフェ・イノベーション研究会」が設立されました。

● 文楽鑑賞会

第10回:平成25年8月3日(土) 参加者:22名

・場所:国立文楽劇場

・演目:妹背山婦女庭訓(いもせやまおんなていきん)

● 若手交流会

第14回:平成25年2月16日(土) 参加者:7名

・内容:西陣織手織り体験@京都

第15回:平成25年 6月16日(土) 参加者:10名

・内容:藍染め体験@奈良

● ビジネス倶楽部

第3回:平成25年6月13日(木)参加者:17名

・会場:タツタ電線(株) タツタテクニカルセンター

・講演:「タツタ電線における新規事業の歴史と今後の取り組み」代表取締役社長 木村政信氏(S58)

専務取締役 橋本和博氏

・見学会:テクニカルセンター、機能性フィルム工場見学

● 産業遺産探訪

第2回:平成25年6月20日(木) 参加者:17名

・場所:鑄物民俗資料館(枚方)鴻池新田会所(東大阪)

・テーマ:江戸時代の金属加工と農業経営

・内容:当時の状態に復元保存された施設の現地見学



第3回(予定):平成26年5月24日(土)

・場所:有形文化財・近代化産業遺産 大阪倶楽部会館

・テーマ:戦前・戦中(1920～40年代)の産業遺産

・内容:安井武雄設計の会館を細部まで見学 織田剛氏(H2)による「飛行機」の話を聴く

● ゴルフカフェ

第2回:平成25年3月7日(木) 参加者:9名

・場所:ロータリーゴルフクラブ(神戸市北区)

第3回:平成25年11月9日(土) 参加者募集中

・場所:ロータリーゴルフクラブ(同上)

● 大阪あそ歩

第2回:平成25年3月23日(土) 参加者:13名

・場所:大阪市平野区平野郷「環濠都市・平野郷めぐり」



第3回:2013年9月28日(土)

・場所:大阪府堺市 自治都市・堺めぐり

● 京都あそ歩

第1回(予定):平成25年12月7日(土)

・場所:京都市伏見区 伏見の酒蔵などを見学



支部だより

● ミュージックカフェ

第1回:平成25年4月12日(金) 参加者:8名

・場所:大阪梅田 AZUL

・内容:ジャズボーカリスト石田裕子さん&ピアノ・ドラムのライブと食事&ドリンク

第2回:平成25年10月26日(土) 参加者募集中

・場所:京都青山音楽記念館(阪急「上桂」)

・内容:Erika Dohi & Mivos Quartet in Kyoto
～ ピアノと弦楽カルテットのコラボレーション ニューヨークからの風～

■ 京機九日会

・平成25年度

・開催日:偶数月9日(2/9, 4/9, 6/10, 8/9, 10/9)
11時～14時

・場所:中央電気倶楽部(大阪・堂島)

・幹事:S42年卒組

詳細は京機会ホームページをご覧ください。

■ 京機・京都の会

・開催日:3、7、9、12月の第一土曜日、11時から
毎回40分程度の話題提供の後、会食・懇談

・場所:ウェスティン都ホテル(蹴上)

・内容:京都近辺の京機会会員交流会

開催日、開催場所は再検討中で変更になる可能性があります。詳細は京機会ホームページをご覧ください。

■ ここのえ会

京機会の会員および会員子女を主な対象とした結婚支援活動組織「ここのえ会」では、より多くの出会いを実現するため入会登録者数の拡大に努めています。事務局において積極的なPRを展開するとともに、会員の皆様にも積極的な口コミPRをお願いいたします。会の詳細やお問い合わせは京機会ホームページをご覧ください。

■ 2回生工場見学への協力

機械系教室は、2回生の工場見学会を大学の創立記念日に合わせて開催しており、関西支部も本企画に協力しています。本年度(6月18日開催)は、本支部幹事会社の1つであるパナソニック株を見学いただきました。(もう1社の見学先はイトーキ株) 学生たちが将来感じるであろう機械工学技術者の役割や責任を、直に感じる事ができたものと考えています。

平成26年度 関西支部総会及び新年会のご案内

平成26年度支部総会・新年会は、以下の日程で開催します。関西支部会員は同封の案内をご確認下さい。詳細は、京機会HPにも掲載しております。

日時:平成26年1月18日(土)

場所:ホテルグランヴィア大阪

関東支部からのお知らせと報告

第11回 ゴルフ会のご報告

関東支部主催の平成25年度京機会総会の翌日4月14日(日)に、併設ゴルフ会を江戸崎カントリー倶楽部で11名が参加して行いました。大学から榎木哲夫教授(S56)と松原厚教授(S61)にもご参加いただき、熱戦の結果、第10回に続いて濱中卓氏(S43)が栄えある優勝杯を獲得しました。準優勝は樋野悦司氏(S58)、ブービー賞は前野幹彦氏(S42)が受賞されました。

第7回 写真同好会撮影会のご報告

同じく総会併設企画として4月14日(日)皇居東御苑にて開催しました。5名と少数でしたが、初参加も2名とフレッシュな顔ぶれで、春の御苑を散策しながら思い思いにシャッターを切りました。また、関西支部から並木宏徳氏(S44)もご参加頂き、楽しいお話を交えながらの撮影会となりました。

第4回 MOTセミナーのご報告

7月6日(土)京都大学東京オフィスにて、四国電力(株)常勤顧問の石崎幸人氏(S43)より「エネルギーの需給における原子力発電の役割と原子力発電の安全性の向上」というテーマでご講演いただきました。ホットなテーマでもあり、若手からも多数の質問があり、非常に盛り上がりしました。



第8回 若手交流会のご報告

7月6日(土)MOTセミナーの懇親会を兼ねて第8回目となる若手交流会を行いました。交流会では、石崎氏を若手や参加者が囲んで表からではわかりにくい原発の話題に関して、質問や議論を重ねました。参加者は、機械系の思い出話から、普段の業務では得られない議論迄、思い思いに交流を深め大変有意義な会となりました。

第12回 ゴルフ会のご報告

9月14日(土)に万木城カントリークラブで行いました。台風直前の晴天のもと10名のメンバーが参加し全員がグロス100切り、2位と4位と最下位が同グロススコアという近年稀に見る接戦を繰りひろげました。優勝は前野幹彦氏(S42)が、ベストグロスは角知則氏(S55)が獲得されました。

第12回 異業種交流会のご案内

◆日時:平成25年11月15日(金) 14時集合

◆場所:ソニー本社(最寄:JR品川駅)

詳細は、京機会HPにてご確認ください。

平成26年度 関東支部総会及び新年会のご案内

平成26年度支部総会・新年会は、以下の日程で開催します。関東支部会員は同封の案内をご確認下さい。詳細は、京機会HPにも掲載しております。

日時:平成26年2月1日(土) 13:00～

場所:日立金属高輪和彊館(品川駅から徒歩10分)



鎌居健一郎支部長(S53)体制の2年目がスタート。2013年度は「先進モビリティとモノづくりで切り開く未来」をテーマに、モビリティとことんこだわったイベントを続々と開催しています。

中部支部総会、講演会、懇親会の報告

日時:2013年4月20日(土) 15:30~
場所:㈱デンソー D-Square 参加人数:73名
講演:「先進的モビリティと名古屋の街づくり」
名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター 森川高行 教授
「振興国向け二輪車技術の明と暗」
ヤマハ発動機 上席執行役員 MC事業本部第2 事業部長 三輪邦彦氏(S53)

森川先生は、モビリティ都市名古屋を舞台にドライバーと歩行者が心地よく過ごせる街づくりをご提案頂きました。三輪さんは、アセアンへの二輪市場拡大の秘訣を、自らの悪戦苦闘のご体験を交え、解りやすくご紹介頂きました。懇親会では、若手の会の楽しい景品争奪クイズ、KARTチームの爆笑アピールタイム、とあつという間の2.5時間でした。



技術交流会の報告

日時:2013年4月27日(土) 13:00~
場所:トヨタ博物館 参加人数;15名
見学「トヨタ博物館バックヤード(保管庫)見学ツアー」
一般見学者は立ち入りできないバックヤードを京機会のために特別に見せて頂きました。トヨタ自動車の車両だけでなく、往年の名車がずらりと並ぶ保管庫は圧巻で、杉浦館長自ら名車にまつわる裏話をご披露頂き、参加者はみなさん少年に戻ったかのように目を輝かせ、満面の笑顔！心躍るひとときでした。当日はトヨタ自動車創設75周年記念イベントやGWイベントも開催中で、家族参加者も大満足の楽しいイベントになりました。



若手の会活動の報告

「学生フォーミュラ 京大チーム応援ツアー」

日時:2013年9月7日(土)7:30~
場所:小笠山総合運動公園(ECOPA) 参加人数:11名
見学:京大ピット、エンデュランス走行(決勝レース)
「レース会場が中部にあるのに、中部支部が応援しなくてどうする！」と鎌居支部長(S53)の鶴の一声で企画が始動、杉原くん(H3)はじめ、KART OBが段取りを一手に引き受け、京大ピットに京機会旗がはためきました。するとなんと、悲願の総合優勝！OB男泣き！最高の1日になりました。詳細は京機短信215号にて紹介しています。



学生工場見学会併設技術交流会

日時:2013年9月26日(木)~27日(金)
見学:26日 ㈱森精機製作所、三菱自動車工業(株)
27日 ㈱デンソー、トヨタ自動車(株)(※学生のみ)
講演「アウトランダープラグインハイブリッドEV(PHEV)の開発」
三菱自動車工業(株) 開発本部副本部長 久米建夫氏(S55)
懇親会 26日 18:00~20:00 ㈱デンソー安城荘
OBも参加可能な26日には、三菱自動車の久米さんより、PHEVの開発裏話をお話いただけます。
当日の様子は次号でご報告いたします。

2014年度 春季大会・総会のご案内

来春の春季大会は中部支部主催でセントレアにて開催します。講演も航空・宇宙に関わる方を予定しています。大空に向かって元気一杯の中部をぜひご体感下さい。

日時 2014年4月12日(土)
場所 中部国際空港セントレアホール
見学「滑走路離発着見学ツアー」他
講演(予定)

- (1) 京都大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 藤本健治教授
(2) 三菱重工業(株) 航空宇宙事業本部宇宙事業部長 浅田正一郎様

懇親会 ALICEDINING(セントレア内)

平成26年度京機会春季大会 セントレア(中部国際空港)にて開催決定!
特別企画:滑走路見学ツアー
3/31セントレアにLCC就航!
福岡 福岡 福岡
大人 ¥4,090
札幌 ¥4,990
那覇 ¥4,990
北海道・九州から、ぜひ飛行機でご来場ください!



中国四国支部からのお知らせと報告

平成25年度支部総会の報告

日時:平成25年4月6日(土) 参加人数:32名
 場所:倉敷(鷺羽ハイランドホテル)
 講演:京都大学 井上達雄名誉教授
 「日本刀と外国刀の科学」
 JFEスチール(株) 黒田 茂氏
 「自動車用ハイテンの強化機構と
 ナノ組織制御への挑戦」



特別企画では倉敷美観地区の「大原美術館」の見学を行いました。見学時はあいにくの雨でしたが、会場の鷺羽ハイランドホテルに到着した時には晴れ間も見え、きれいな桜を満喫しました。

平成25年度支部役員

支部長 山本 謙(S50)
 副支部長 稲本 信秀(S52) 山田 仁(S54)
 田中善一郎(S57) 琵琶 志朗(H2)
 監事 三原 豊(S43)
 事務局長 小川 誓(S62)
 事務局次長 後藤 宏(S63)

学生会員工場見学の報告

一昨年が続いて、平成25年8月29日30日に学生会員による中国地方の工場見学(三井造船、JFEスチール、三菱重工業、マツダ)を行いました。29日夜にはJFEスチール広江クラブにて懇親会も開催し、学生会員と親睦を深めました。



支部役員連絡会、地区交流会のお知らせ

平成25年度の支部役員連絡会、地区交流会を、11月9日(土)に広島市内で開催いたします。詳細は追ってご連絡します。

九州支部からのお知らせと報告

秋の行事のご案内 ～TOTO見学会・支部総会～

TOTOといえば、トイレ、お風呂などの水周り中心とした生活密着型の企業イメージをお持ちかと存じます。が、実はあまり知られていませんがパソコンや携帯電話等のIT製品の製造過程においてもTOTO製品が活躍しています。例えば、半導体ICに微細な配線をパターンニングする半導体露光装置やプラズマエッチング装置にもTOTOの先端技術が数多く採用されています。

九州支部総会ではそのTOTO(株)の知られざるセラミックスの先端技術をご紹介します。技術屋魂旺盛な皆様にとって必見です。ご家族揃って是非ご参加下さい。

～TOTO見学会・支部総会～

- ◆日時:平成25年11月9日(土)
(13時00分 JR中津駅 集合)
- ◆場所:TOTOファインセラミックス(株) 本社工場

見学会後、支部総会を開催します。懇親会は、中津郊外の秘湯 金色温泉「こがね山荘」で行います。

<オフショナツァー at 平成25年11月10日>

黒田官兵衛と福沢諭吉の里 ～紅葉と昭和の街散策ツァー～

2014年の大河ドラマ「軍師 黒田官兵衛」ゆかりの中津城や福沢諭吉旧居などを散策します。昼食は、絶品の鱧料理をご準備しております。昭和の街見学コース、耶馬溪の紅葉見物コースもあります。

- 詳細は、メール案内ならび京機会HPでご確認ください。申込みは京機会HPよりお願いします。

平成25年度 春の行事のご報告 ～三井三池炭鉱関連史跡と柳川見学～

九州支部では去る5月18日に春の行事として九州近代化産業遺産群の一つである三井三池炭鉱関連産業史跡と柳川歴史史跡の見学ツアーを実施いたしました。ご家族も含め総勢23名の方がご参加頂きました。

1. 三井三池炭鉱関連史跡見学

見学では三池炭鉱を田舎炭鉱から世界最大級の海底炭田に成長させた団琢磨氏の足跡を辿りました。まず団氏が建設した迎賓館である旧三井港倶楽部を訪れ、午後には三池炭鉱の主力坑道であった万田第二堅坑を見学しました。今も坑道入口設備や石炭や鉱夫を輸送した当時の巻上機、周辺設備がそのまま残されており、まるでタイムトンネルに迷い込んだようでした。石炭産業科学館では、石炭と人間の関わりから、炭鉱の歴史やしくみ、三池港の建設の経緯や構造まで幅広い知識を得ることが出来ました。



2. 柳川史跡見学

三池炭鉱見学会後は柳川へ移動し、柳川藩藩主立花氏別邸であった料亭旅館御花で懇親会を行いました。柳川藩藩主が残した豪邸と庭園や宝物を見学した後、会食ではムツゴロウなど有明海の珍味をたっぷり楽しみました。宿泊メンバーは翌日、北原白秋の生家や水郷を見学して回りました。あいにくの雨模様でしたが、初夏の雨に薫り立つ柳川の水郷の水辺に白秋の詩心の原点を垣間見ることが出来ました。



京機会学生会SMILEからのお知らせと報告

フットサル大会の報告

日時:平成25年4月20日(土)

京機学生会SMILEの広報と機械系学生の親睦を兼ねて行われてきたフットサル大会ですが、大変好評のため恒例イベントとなりつつあります。

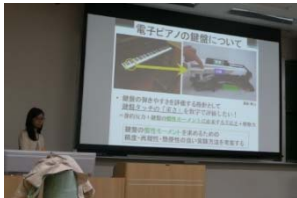
日頃運動する学生もしない学生も全力で楽しくプレーし、学生同士での活発な交流が行われました。白熱した名勝負がいくつも行われ、応援席からは声援が送られていました。優勝したチームにはSMILEから景品が進呈されました。

インターンシップ祭の報告

日時:平成25年5月20日(月)

昨年に引き続き、インターンシップに対する興味・関心を高めてもらうため、実際にインターンに参加した方々のお話を伺う場を設けました。

イベントは司会者からの質問を中心としたパネルディスカッション形式で行われ、パネラーの方々に参加された企業として、大阪ガス、YAMAHA、アサー・D・リトル、ディスコ、シスメックスといった非常に幅広い分野からお招きしました。その後は上記以外のイン



ターンシップに参加された方も交えて小グループでの個別質問タイムとしました。参加者からは積極的に質問が飛び出し、活発なイベントとなりました。また、インターンシップに参加された方々の体験談を冊子にしてまとめたインターンシップ祭BOOKを配布しました。



工場見学の報告

支部のご支援を得て、8月29～30日に中国四国工場見学を開催いたしました。



また、11月21～22日に関東地区工場見学を開催いたします。見学の模様は次号にて紹介いたします。なお、機械システム学コース主催(9月26～27日)中部工場見学にも共催協力いたしました。

京機会・京機学生会SMILE 学生と先輩との交流会のお知らせ

学生会員諸君!

学生会員の多数の参加をお待ちしています。
講演会以外の詳細情報は、京機会からのE-mailや
物理系校舎ロビーポスターにて確認下さい。

日時:平成25年12月14日(土)

交流会:11:00～16:30

懇親会:17:00～18:30

会場:船井哲良記念講堂

懇親会費:1000円

12/1までの申込みなら懇親会費は500円!



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会との仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただき、例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業に参加いただき、各社からも好評をいただいております。



第8回 京都大学ホームカミングデイのご案内



第8回京都大学ホームカミングデイが、平成25年11月2日(土)に、百周年記念館をメイン会場として開催されます。当日は、稲盛和夫氏記念講演会や演奏会などが開催されます。詳細は、京都大学ホームページにてご確認下さい。

URL:http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h8/d2/news4/2013/131102_1.htm



京都大学KARTからのご報告

活動のご紹介

学生フォーミュラは、学生達がマネージメント・デザイン・製作・走行を行うオリジナルのフォーミュラカーです。マシンの速さだけでなく、製造にかかるコストや燃費、実際に販売するための企画力なども採点される競技です。初めはアメリカで1981年に発足しました。日本では2003年に第1回全日本大会が開催され、今年で11回目の大会になります。

私たち「KART」は第2回大会から継続して参戦しており、今年でチーム結成10周年の節目を迎えました。現在メンバーは13名と少数精鋭のチームです。

大会参戦レビュー

去る9月3日から7日までの5日間にわたり静岡県の小笠山運動公園にて開催された第11回全日本学生フォーミュラ大会に参加してまいりました。中国やインドなど海外の大学も含めた77チームが戦い、私たち京都大学フォーミュラプロジェクト「KART」が総合優勝を飾りました。

■大会1日目 技術車検

綿密な対策が実を結び、軽微な修正を行うのみで合格することができました。



■大会2日目 静的審査

コスト審査から始まりました。今年度はマシンの製造コストの増加の影響もあり、13位でした。午後はデザイン審査が行われ、堅実な車両設計開発手法をアピールしました。3年連続デザインファイナル進出が決定しましたが、堅実なあまり新規性に乏しいとの指摘もあり最終的に4位となりました。プレゼンテーション審査は、昨年の事業モデルをさらに発展させた発表を行い、4位でした。

静的審査では上位と差を開けられる結果となりましたが、動的競技での逆転をメンバー全員で誓いました。



■大会3日目 動的競技



天候の変化が激しく路面コンディションと時計を見ながらの1stドライバーの攻撃が始まりました。アクセラレーション(加速性)とスキッドパッド(旋回性)はとにかくタイムを残すという方針で行い、2ndドライバーは残りの時間の中でポテンシャル最大で攻撃を行いました。スキッドパッドは5/100秒差で惜しくも2位を獲得し、不利(エンジンが単気筒の為4気筒には劣る)なアクセラレーションでも9位を獲得しました。午後のオートクロス(タイムトライアル)では、1stドライバーがタイヤを使い切れずタイムが伸びませんでしたが、2ndドライバーがきっちりと挽回し、2位の好タイムをたたき出しました。

■大会4日目・最終日

残りの競技はエンデュランス(耐久走行)と燃費の2種目を2日間で競い合います。我がチームは最終日、5日目の最終組での走行となりました。4日目は入念な調整を行いました。最終日の最終組でのファイナルアタック、極度の緊張の中、今年度の車両(KZ-



RR11)は最後までその強さを見せつけ、両ドライバーも安定したタイムを刻み続け、耐久走行でついに1位を獲得しました。



静的審査の得点こそ伸びませんでしたでしたが、動的競技で圧倒的な得点を稼ぎ、KARTは創設10年目にして悲願の総合優勝を達成しました。総合2位との差はわずか3点差の接戦でした。



最後に

ようやく、目標の総合優勝を果たすことができました。このような結果に至ったのも偏に応援して頂いたスポンサー・サポーターの皆様のおかげであります。



引き続き精進して、次は日本大会連覇を目指してまいりますので、今後とも私たち「KART」にご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

京都大学フォーミュラプロジェクトKART

2013年度プロジェクトリーダー 大橋 一輝

FA 山路 伊和夫

● チームメンバー



今年度リーダの大橋(左)
新年度リーダの井澤(右)



おかげさまでたくさんのトロフィーを獲得いたしました。皆様の応援ありがとうございました。新年度も新しいメンバー共々よろしくお願いいたします。

エジプト日本科学技術大学 (E-JUST) 設立プロジェクトのご紹介

一昨年の7月、5年ぶりに京大に戻ってまいりました。以来、国際協力機構(JICA)のエジプト日本科学技術大学(E-JUST)設立プロジェクト関連で、1年のうち8~9ヶ月をエジプトにて活動しています。今回、何か原稿をとご依頼をいただきましたので、この場をお借りしてE-JUSTについて紹介させていただきます。



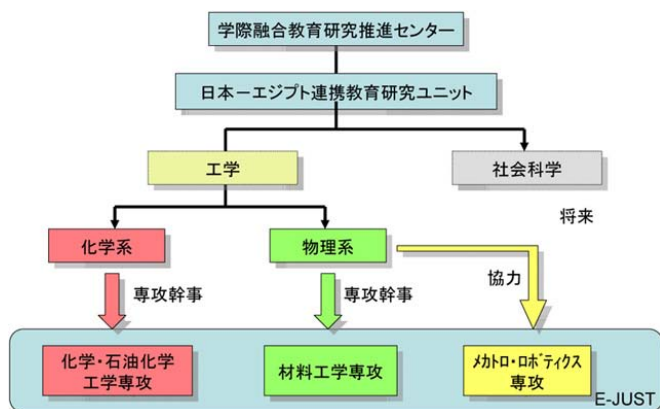
E-JUSTは2010年に当時のムバラク政権によってアレキサンドリア市郊外のボルグ・エル・アラブという街に設立されたエジプトの国立大学で、日本型の工学教育の特長を活かした「少人数、大学院・研究中心、実践的かつ国際水準の教育提供」をコンセプトとしています。エジプトでは既存の国立大学のマspro化が極度に進み、特に工学系分野において高度な専門教育を実施することができなくなったため、多くの若い優秀な人材が国外に流出しています。これを改善するための一環として、近年は欧米諸国の大学と連携した外国系大学が新設されてきましたが、すべて高額な授業料が必要な私立大学であるとともに学部中心の教育が行われているため、工学系分野の高等教育環境改善への効果は大きくありませんでした。こうした状況の下、質の高い日本型の工学教育が注目され、また実際に日本のトップ大学やJICAが技術指導や研究・教育機材整備を支援することで、E-JUSTではエジプト既存の国立・私立大学とは全く異なる工学教育・研究が行われています。現在は大学院工学研究科の8専攻が開設されており、約100名の大学院生が在籍しているほか、開学から今年の春までに29名が修士課程または博士課程を修了しました。京大は日本側専攻幹事大学の1つとして、2専攻(材料工学専攻、化学・石油化学工学専攻)の教育・研究活動や専攻運営を支援しています。

私が特任教員として活動しているE-JUSTの材料工学専攻は2011年2月に開設されました。現在は、修士課程

4名、博士課程4名の計8名の大学院生が在籍し、彼ら全員が出身大学の学部では機械工学を学んできています。一昨年の「アラブの春」によるムバラク政権崩壊の影響などでE-JUSTのキャンパス建設計画が一向に進まない時期もあり、依然としてキャンパスは未建設のままですが、集合住宅を改装した仮キャンパスで講義を行い、実験や実習は仮キャンパス付近にある他研究機関の一室を間借りして行っています。近々に新キャンパス予定地の一面に建設中の仮設実験室棟が完成し、大きな研究・教育機材を移動させて新たな環境で実験や実習を行う予定です。京大からは機械系専攻群と材料工学専攻から合わせて10名の先生に支援チームに入ってもらい、毎月のテレビ会議での専攻運営支援のほか、現地でのリレー講義やセミナー・シンポジウム講演、研究・教育機材に関する技術指導、スタッフや学生へのアドバイス、エジプトの他研究機関との研究交流など、エジプトにお越しいただいた際には幅広くご助力いただいています。

アレキサンドリア市内には英語が通じる店舗や施設も多く、エジプトでの日常生活においては特に大きな不便を感じることはありません。イスラム教では御法度のアルコールもラマダン期間中を除けば酒屋で手に入ります。ただ、やはりエジプトの文化は日本と大きく異なり、E-JUSTでは「何があっても自分の正当性や非責任を主張し続ける」エジプト人の流儀に振り回されることも多いです。逆に言えば、そうやって強引に口八丁手八丁で周囲の環境を作り上げてきた者が、より大きな実績も上げてきているようです。このような文化の影響なのか、教員・学生に関わらずエジプト人が行うプレゼンテーションはどれも抜群に上手で、いつも感心してしまいます。学生は学位の修了要件としてTOEFLで550点のスコアがいるのですが、流暢な英語で上手にプレゼンテーションを行う学生の多くが規定のTOEFLスコア獲得に苦しんでいるのが本当に不思議です。

学生は非常に熱心で、貪欲に技術を学び取ろうとしており、積極性という点では日本の学生と比較すると極めて高いレベルにあります。誰もが「自分たちがこの国の将来を引っ張っていく」という強い意識に溢れていて、特に世界最先端の科学技術には常に高い関心を示しています。その反面、エジプトの特殊な教育制度の影響もあって数学・物理学・化学などの基礎学問の知識がところどころ抜けている箇所があり、これらの補習や大学の成績とは無関係の課題についてはほとんど興味を示さないのが難しいところで、しっかりした基礎学問の土台があれば実学における応用力も格段に身に付くものにとしばしば歯痒くなることもあります。とはいえ、エジプト高等教育省から奨学金を得ている優秀な人材が集まっているわけですから、学生が強い意欲をもって取り組める教育・研究内容を熟慮して、彼らの高い能力が十分に発揮できる環境をつくっていきたくと考えています。



京都大学におけるE-JUST支援体制

昨年12月によく具体的な新キャンパス建設計画がモルシ政権に承認されて大きな期待を寄せていたところに、今年6月末の大統領就任1周年デモをきっかけに政権が崩壊し、皆さんもよくご存知のような情勢となつてしまいました。この原稿を書いている時点では、現地での支援がいつ再開できるか見通しが立っていません。学生への研究指導のため週に数回スカイプで現地と連絡を取っていますが、彼らも現状に対していろいろな思いをぶつけてきます。何よりもまずは平穏な生活を取り戻し、一刻も早く不安なく勉強や研究に打ち込める状況になることを願って止みません。日本国内でのE-JUSTの知名度は依然として低いようですが、中東・アフリカ地域リーダー国であるエジプトでの日本による科学

技術を通じた若者育成支援が、将来の日本の国益につながることを信じて活動しています。

ぜひ 今後のE-JUSTの動向にご注目をいただければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

中村 康一氏の略歴：H6本学工学部石油化学科卒。分子工学専攻修士課程・博士後期課程を経て、H11本学機械物理工学専攻助手、H16講師、H17本学マイクロエンジニアリング専攻講師。H18立命館大学に異動し、H21よりチェアプロフェッサー。H23本学学際融合教育研究推進センター特定准教授に着任。



教員の異動

転出, 異動

- ◆**高田 滋准教授：**H25.4.1 本学航空宇宙工学専攻流体数理学分野の教授に昇任
- ◆**山田啓介助教：**H25.4.1 関西大学システム理工学部機械工学科の准教授に昇任
- ◆**菅野公二講師：**H25.4.1 神戸大学工学研究科機械工学専攻へ異動

新任

◆**鈴木基史教授：**S61京大・工・物理工卒、S63同大学院工学研究科・修士課程修了、(株)豊田中央研究所入社、H10京都大学(工学)取得、H14.4.1本学機械物理工学専攻助教授、H25.8.1本学マイクロエンジニアリング専攻教授。新しいナノ形態の制御法の開発、ナノ形態材料の応用に関する研究に従事。愛知県出身。



◆**大塚敏之教授：**H2都科技大・工・航空宇宙卒、H4同大学院工学研究科・修士課程修了、H7同博士課程修了、H7筑波大学構造工学系講師、H11大阪大学大学院工学研究科講師、H15同助教授、H19同大学院基礎工学研究科教授、H25.4.1本学大学院情報学研究科システム科学専攻教授。非線形制御と最適制御の理論と応用に関する研究に従事。東京都出身。



◆**韓 成雄助教：**H12韓国東亜大・工・化学卒、H14同大学院工学研究科・修士課程修了、H17東農大・生命工学専攻博士後期課程修了、H17JSPS研究員(東大)、H19産総研特別研究員、H21理研研究員、H23京大特定研究員H25. 3. 1本学マイクロエンジニアリング専攻助教。原子間力顕微鏡を用いた単一細胞、蛋白質操作、検出技術の研究に従事。



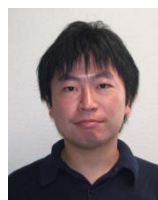
◆**平井義和助教：**H14立命館大・理工・機械工卒、H16同大学院理工学研究科・博士前期課程修了、H19京大大学院工学研究科・博士後期課程修了、H19.4同・博士研究員、H21.4同学際融合教育研究推進センター・先端医工学研究ユニット特定助教を経て、H25.5本学マイクロエンジニアリング専攻助教。ナノ・マイクロ3D加工とそれを応用したMEMSデバイスの開発に関する研究に従事。京都府出身。



◆**藤原幸一助教：**H16京大・工・工業化卒、H18同大学院工学研究科化学工学専攻・修士課程修了、H20日本学術振興会特別研究員DC2、H21同博士後期課程修了、日本学術振興会特別研究員DC、豪Curtin大学客員研究員、H22NTTコミュニケーション科学基礎研究所研究員を経て、H24本学情報学研究科システム科学専攻助教。ヘルスマニタサービスク・医用デバイスの開発、生体信号処理に関する研究に従事。広島県出身。



◆**小野寺陽平助教：**H18山形大学大学院理工学研究科・修士課程修了、H23京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了、H23本学産官学連携本部特定研究員を経て、24.10.1本学原子炉実験所助教。中性子およびX線散乱による機能性材料(主に電池材料)の構造研究に従事。宮城県出身。



◆**沖野真也助教：**H18京大・工・物理工卒、H20同大学院工学研究科・修士課程修了、H23同博士後期課程修了、H23三菱電機(株)先端技術総合研究所研究員を経て、H25本学機械理工学専攻助教。乱流や流れの安定性など、流体力学における基礎的研究に従事。京都府出身。



会員のページ

明石一名誉教授 訃報

名誉教授 明石一先生が、かねてよりご療養中のところ、平成25年5月6日に、お亡くなりになりました。ご葬儀はご家族だけで行われました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



京機26年同窓会

平成25年3月14日、大阪ラマダホテル花外楼で同窓会を行いました。今回の出席者は、大塚、加藤、村上、吉川の4名。和やかな歓談の後、10月22日に、移転した桂キャンパスの見学を約束して、散会しました。

(吉川記)

京機22年会(昭22年卒)同窓会

日時:平成25年3月25日(月)12:30~15:30

場所:ホテルグランヴィア大阪

出席者:8名(写真前列左より)岡田、桂、中井、村上
(後列左より)河野、若林、宮下、竹内

今回は中井の卓話「ドイツ人の働きぶり」に関連して話がはずんだ。その後出席者の近況報告で時間一杯。

幹事(河野)の纏めた短信集で欠席者の近況もよく分かる。次回は、ホテルグランヴィア大阪にて、10月28日(月)、12:30より開会。
(中井記)



悟美会(1953年3月卒業(新制))同窓会

本会の会合を本年5月13日(月)に大阪弥生会館で開催しました。出席者は8名で初めて10名を切りました。しかし、最近の話題(政局、経済、中国および韓国との領土問題等々)について白熱した議論が交わされ、盛会でした。最後に来年もこの頃に同所で開くことを約して散会しました。(記念写真撮影なし)

出席者は下記のとおりです。足立、宇多小路、大路、角田、西田、村山、山田、中川(隆)

昭和29年卒(洛友会)同期会

平成25年5月13日大阪倶楽部で関西地区総会を開催しました。参加者は9名で初めて10名をきることになりました。

最近の話題を賑やかに歓談しましたが、それぞれの近況を語り始めるとどうしても健康が話題となり、苦労話が紹介されました。桂キャンパスへの移転に関しては、却って吉田キャンパスを懐かしむ話が多く、来の開催場所を桂キャンパスとするかどうかについては幹事に一任することになりました。関西地区総会とは称するものの他地区在住の受信希望者には毎回開催通知を出しており、次回は多数の参加を期待したいと考えています。
(岡崎記)

50年会(1950年卒)同窓会

日時:平成25年5月20日(月)11:00~14:00

場所:大阪(社)大阪倶楽部

当初6名の出席予定が1名体調不良で欠席(小澤、下間、長尾、森川、福井の5名の出席、出欠の返信ハガキに近況を書いて貰い近況集を配布し、欠席者には郵送することにした。)集まるのはいつも同じメンバー数名になってきたので、今のあり方について色々話をし、更に検討することにした。幹事は、福井から小澤氏に交代した。合田、眞部の訃報があった。(福井記)



泰山会(昭和31年卒)

平成25年5月21日(火)午後、泰山会に、赤松、稲積、木下、小浜、友田、永井、橋本、東、山下、山本、和木の諸君が参加しました。大和路快速で柏原まで、日鉄住金ファインテック(株)の油井管継ぎ手精密機械加工などを見学、のち大阪駅に戻り、ホテルグランビア大阪abの京機会メニューで懇親会、久闊を叙し歓談しました。次は神戸で開催します。(小浜記)



昭和46年卒(教養学部T-10組)同窓会

日時:平成25年7月20日(土) 18:00~21:00
場所:料理旅館 鶴清(木屋町5条上ル 納涼床)
出席者:14名

一昨年(2011年)11月12日(土)に The Garden Oriental Kyoto で、大学卒業後初回の同窓会を開催しました。2度目の今回は 鴨川に張り出した納涼床で同窓会を開催しました。「退職後は趣味を生かした生活をしたい。孫はかわいいが世話が疲れる。」など年相応の話題や、「セイロンから留学していたティモティ氏は現在アメリカに移住して、子どもさんたちと元気に暮らしている」といった、出席できなかった同期生の近況報告がありました。次回予定:平成26年10月、場所:京大時計台下「フレンチレストラン(ラトゥール)」幹事予定:増田 豊。(清水記)



昭和40年卒同窓会(4040会)

6月8日の岡山後楽園での同窓会に多くの同窓生が一同に集まり、学生時代の昔を語り、現役時代を語り、今を語り、更に未来を語り?楽しいひと時が過ごせたことと思っています。前日には11名の参加でゴルフも楽しみました。まだまだ先長く健康で明るく長生きする人の集まりだったように感じました。

全員70才を超えましたが、まだ現役の人、晴耕雨読の人、趣味やボランティアに精を出している人など自分の人生を最後まで走り続ける元気溢れる集団だと思いました。これからますます自分の健康に留意して将来に備えましょう、来年の同窓会(名古屋)で再度会いましょうと力強く別れました。(福田記)



岩井名誉教授祝賀会

岩井壯介京大名誉教授が平成25年春の叙勲を受けられ、また本年が岩井先生ご退官から20年の節目にも当たることから、叙勲祝賀会を兼ねた研究室同窓会が新横浜駅近くで67名の参加者を集めて開催された。

先生は名城大学での2度目のご退官後に大病を患われてリハビリを続けられていたが、当日には参加者との歓談や御礼の言葉を述べられるまでに回復されており、昔と変わらないお話ぶりに、同窓生一同安堵させて頂いた。学生時代最後の多感な一時期を共有した同窓生ならではの懐かしい気分を思い起こす至極の時間を楽しみながら、卒寿を迎えられての再会を約束して散会となった。(樫木記)



京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)をお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただく場合があります。またお送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承下さい。次号(2015春号No.34)締切は12月末日です。担当:蓮尾昌裕、富田直秀、小森雅晴、段 智子

S42年卒関西同期会

S42年卒の京機会メンバーの関西同期会が、平成25年6月1日にホテルグランビア大阪 19階アブで12名が集まり開催されました。同期メンバーの近況を中心に歓談したところ、あっという間に3時間が過ぎました。本会は昨年初めて開催し、毎年6月の第一土曜日に開催することになっています。

平成26年は6月7日(土)17時から同場所で行います。関心ある方は、幹事 川合までご連絡ください。



H25晦日会(河本研究室同窓会)

H25晦日会が、台風15号の襲来が懸念される中、平成25年8月31日にホテルグランビア大阪 19階アブで開催されました。

晦日会になって初めての加藤氏・芝原氏の参加もあって16名が集まりました。自由な歓談であっという間に2時間が過ぎました。

次回(来年)は平成26年は8月30日(土)17時から同場所で行います。関心ある方は幹事 川合までご連絡を。



牧野俊郎教授 退職記念行事

機械理工学専攻・牧野俊郎教授は、平成25年3月31日付 定年退職されました。3月20日(水・祝)には「牧野俊郎教授 退職記念行事」が行われました。まず 吉田キャンパス・物理系校舎・313講義室にて【最終講義】(「京都大学での45年を振り返って」)が行われ、その後 京都平安ホテルにて【退職記念パーティー】が行われました。

多数の方々の参加を得て盛会の内に退職記念行事を無事終えることができました。(幹事記)



平成24年度 学位授与式の風景

平成25年3月23・24日に、機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻(大学院)、機械システム学コース(学部)学生全員の出席を得て学位授与式を開催しました。23日には、京機会主催でエネルギー科学研究科、情報学研究科、エネルギー応用サブコースの学生と共に、記念パーティーを開催しました。会長、専攻長、コース長からの祝辞、賞の授与と卒業記念品贈呈がありました。

